

行政部門別常任委員会の活動状況 県内調査の活動状況をご紹介します。

総務地域連携交通常任委員会

【県内調査の状況】 実施日：7月29日、7月30日

明和町にある一般社団法人三重県地域おこし協力隊サポートデスクでは、県内の地域おこし協力隊が抱える課題や、地域おこし協力隊の定住・定着に向けた取り組みについて調査し、多気町では、デマンド交通やライドシェア、自動運転といった地域公共交通政策の取り組みについて調査しました。

また、熊野市にある三重県職員公舎では、老朽化が進む同公舎の整備状況について、現地を見学しながら調査しました。

さらに、紀宝町では、移住に関する支援制度や相談体制の整備といった移住・定住促進の取り組みについて、令和6年度にオープンした「紀宝町移住定住サポートデスク」の見学とあわせて調査していましたが、津波警報の発表に伴い、調査を途中で中止することとなりました。



紀宝町移住定住サポートデスクにて

環境生活農林水産常任委員会

【県内調査の状況】 実施日：7月30日、8月4日

木曾岬町の農業法人では、スマート農業や安定した米づくりに向けた取り組み等について説明を受けた後、実際に使用している農業機械や米の保管状況について調査しました。また、四日市市のジェンダーギャップ解消に向けて取り組む企業では、オフィスを見学し、多様な働き方を行う従業員から職場環境の改善事例について話を聞くなどして調査しました。

三重県農業研究所では、食料自給力の強化や環境と調和の取れた農業生産の実現に資する研究開発等について説明を受けるとともに、農業研究所の機能強化に向けた取り組みについて調査しました。さらに、伊勢農業協同組合において、農業DXの取り組みや昨今の米を巡る地域の状況について調査しました。



三重県農業研究所 世代促進温室にて

防災県土整備企業常任委員会

【県内調査の状況】 実施日：7月29日、8月4日

川越町にある建設企業では、生産性向上に資する取り組みや女性活躍、担い手確保の取り組み等、建設産業活性化に向けた取り組みについて調査しました。伊賀地域消防指令センターでは、伊賀市消防本部と名張市消防本部が消防通信指令業務の共同運用を行っていることから、その運用状況について調査しました。大紀町では、防災対策の取り組みを調査し、津波避難タワーである錦タワーの現地調査を行いました。また、現在、同町で検討されている避難の困難な方を対象とした高台移転事業について調査し、移転予定地の現地調査を行いました。

さらに、紀北町において工事が進められている(仮称)下地トンネルの整備状況について、現地を調査しました。



(仮称)下地トンネル工事現場にて

政策企画雇用経済観光常任委員会

【県内調査の状況】 実施日：7月29日、7月30日

尾鷲市役所では、森林経営活動や植林活動の取り組みから生じたCO2吸収量が認証されたクレジット(J-クレジット)の売買等、複数の民間企業と連携したゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを調査し、公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構では、第63回神宮式年遷宮等の大規模イベントを契機とした観光振興と、観光施設が進めるインバウンド対策等について調査しました。

また、鈴鹿工業高等専門学校では、県内企業と連携したカーボンニュートラルの実現に向けた人材育成の取り組みを、津市の農園では、ジェンダーに関係なく社員のライフステージに合わせた職場環境の整備状況を調査しました。さらに、三重大学に設立された半導体・デジタル未来創造センターでは、半導体分野およびデジタル関連分野に関する高度技術者育成と研究推進について調査しました。



鈴鹿工業高等専門学校にて

医療保健子ども福祉病院常任委員会

【県内調査の状況】 実施日：7月30日、8月4日

亀山市の総合福祉施設では、子どもから高齢者まで利用している福祉施設の運営状況に加えて、今後の障がい者の利用に向けた取組状況等、共生社会の実現のための取り組みや外国人も含めた人材確保や介護ロボット・ICT機器の活用等の働き方改革の取り組みについて、四日市市の県立総合医療センターでは、がんや周産期、災害時の医療提供や病院内の感染症対策、地域医療連携、医療人材確保等の取り組み等について調査しました。

また、鈴鹿市の労働者協同組合では、ひとり親家庭への支援、児童発達支援や、フリースクールの運営等子どもたちの安心できる居場所づくりの取り組みについて、いなべ市では、妊娠期から子育て期の支援、母子保健と児童福祉が一体となった支援体制や、発達に支援を必要とする子どもに係る医療連携体制の構築等、子ども・子育て支援の取り組み等について調査しました。



亀山市の認定こども園にて

教育警察常任委員会

【県内調査の状況】 実施日：7月4日、7月29日

県立水産高等学校では、実習船「しろちどり」、水槽等の施設見学や校長との意見交換を実施し、県内で唯一水産に関する専門学科を持つ学校の特色ある教育について調査しました。鳥羽市立加茂小学校では、全学年の授業見学や校長との意見交換を行い、令和7年度「子どもたちの自己肯定感を涵養する教育推進事業」のモデル校としての取り組みや課題、今後の方向性等について調査しました。今年5月に供用を開始した大台警察署では、施設見学や署長との意見交換を実施し、県民の暮らしを守る新たな治安・防災活動拠点施設としての同署の役割について調査しました。

また、今年4月に開校した県立夜間中学みえ四葉ヶ咲中学校では、施設見学や校長との意見交換を行い、同校の設置に至る経緯や運営状況、今後の課題等について調査しました。



実習船「しろちどり」にて